

なつかしき笛や太鼓 (1967)

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ スポーツ

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1967/09/30

【解説】

木下恵介が製作・脚本・監督を務めた、木下プロ第一回作品。松竹を退社した木下がメガホンをとるのは、1964年の「香華 前後篇」以来、三年ぶりのことだった。

今から13年前の昭和29年。家田徹は瀬戸内海の小手島に赴任してきた。亡くなった戦友の一人息子である健一を育てるため、婚約者である道子の反対を押し切って来たのだった。しかし赴任した学校の生徒はまったくやる気がなく、乱暴者の大人たちと酒を飲みながら花札に明け暮れる始末。近隣の学校が集まって行われる合同運動会でも毎年ビリで、生徒たちには誇りも自信もなかった。徹は子供たちにやる気を持たせるため、バレーボールを教えることにする。最初はまったく興味を示さない子供たちだったが、徐々に心を開き始め…。

【クレジット】

監督 木下恵介

製作 藤本真澄

金子正且

木下恵介

脚本 木下恵介

撮影 楠田浩之

美術 松山崇

音楽 木下忠司

照明 下村一夫

出演 夏木陽介

大空真弓

浦辺条子

小坂一也

藤原釜足

初音礼子